

公共施設等総合管理計画

【改定版】

2022(令和4)年3月

徳島県松茂町

目次

第1章	本計画の趣旨	1
	1 背景・目的	1
	2 計画期間	1
	3 本計画の位置づけと対象施設	2
第2章	松茂町の概要	3
	1 位置と地勢	3
	2 人口の動向と将来予測	4
	3 財政状況	6
第3章	公共施設の現状及び将来の見通し	10
	1 施設整備状況	10
	2 試算条件	13
	3 ハコモノの将来更新費用推計	15
	4 ハコモノ＋インフラの将来更新費用推計	16
第4章	公共施設等の総合的な管理に関する基本的な方針	17
	1 基本方針について	17
	2 維持管理方針	18
	3 公共施設マネジメントの基本方針	22
	4 中長期的な維持管理・更新等に係る経費の見込み	24
	5 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策	24
第5章	施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	25
	施設カルテ	26
第6章	インフラの管理に関する基本的な方針	131

第1章 本計画の趣旨

1 背景・目的

① 公共施設の管理の見直しは全国共通

現在、高度経済成長期に整備された公共施設やインフラの老朽化は、社会問題となっています。中央自動車道笹子トンネルで発生した天井板崩落事故は、まだ記憶に新しいでしょう。こうした中、国では、すべての自治体に対しすべての公共施設を把握し、長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化等を計画的に管理する「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しました。

本町においても、町民ニーズに合わせた公共施設等を早くから整備しているため、まもなく更新時期を迎えるという課題に直面しています。そこで、次の3つの課題の解決に取り組むため「松茂町公共施設等総合管理計画」を策定するものです。

② 3つの課題

時代に合った地域づくりを

1.老朽化施設の増大

公共施設等の多くは、本町の進展とともに整備されてきました。これらを一斉に更新する時期が迫っています。



2.人口の減少と少子高齢化

人口減少、少子高齢化が進み、住民のライフスタイルの変化とともに、公共サービスのあり方が問われています。



3.厳しい財政状況

生産年齢人口の減少や、長引く景気の低迷により、本町の財政状況は厳しさを増し、必要性の高い公共施設まで良好な状態で保てなくなる恐れがあります。



2 計画期間

本計画期間は、2017（平成 29）年度から 2026（令和 8）年度までの 10 年間とします。

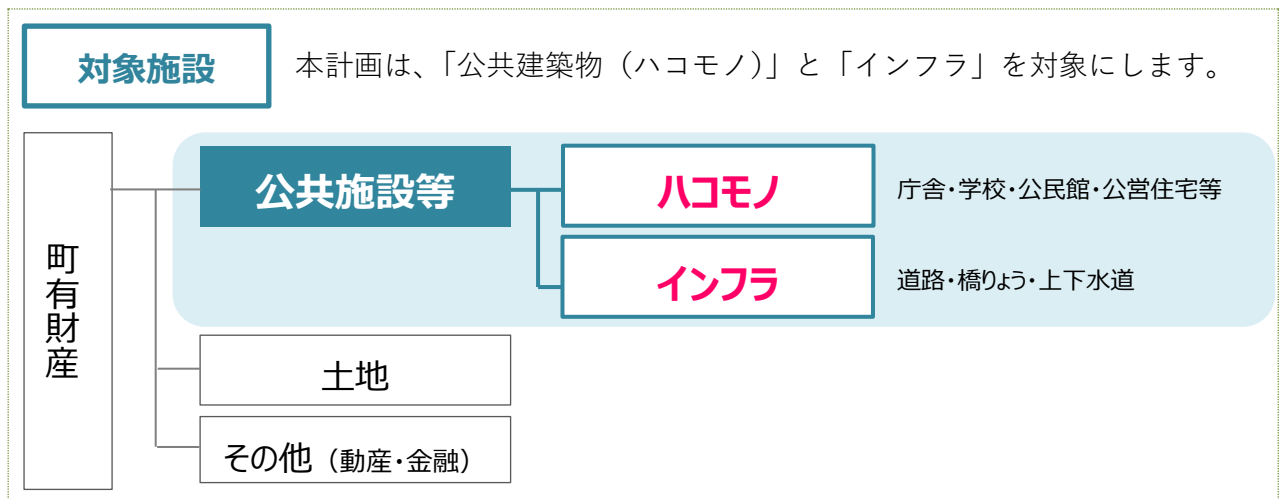
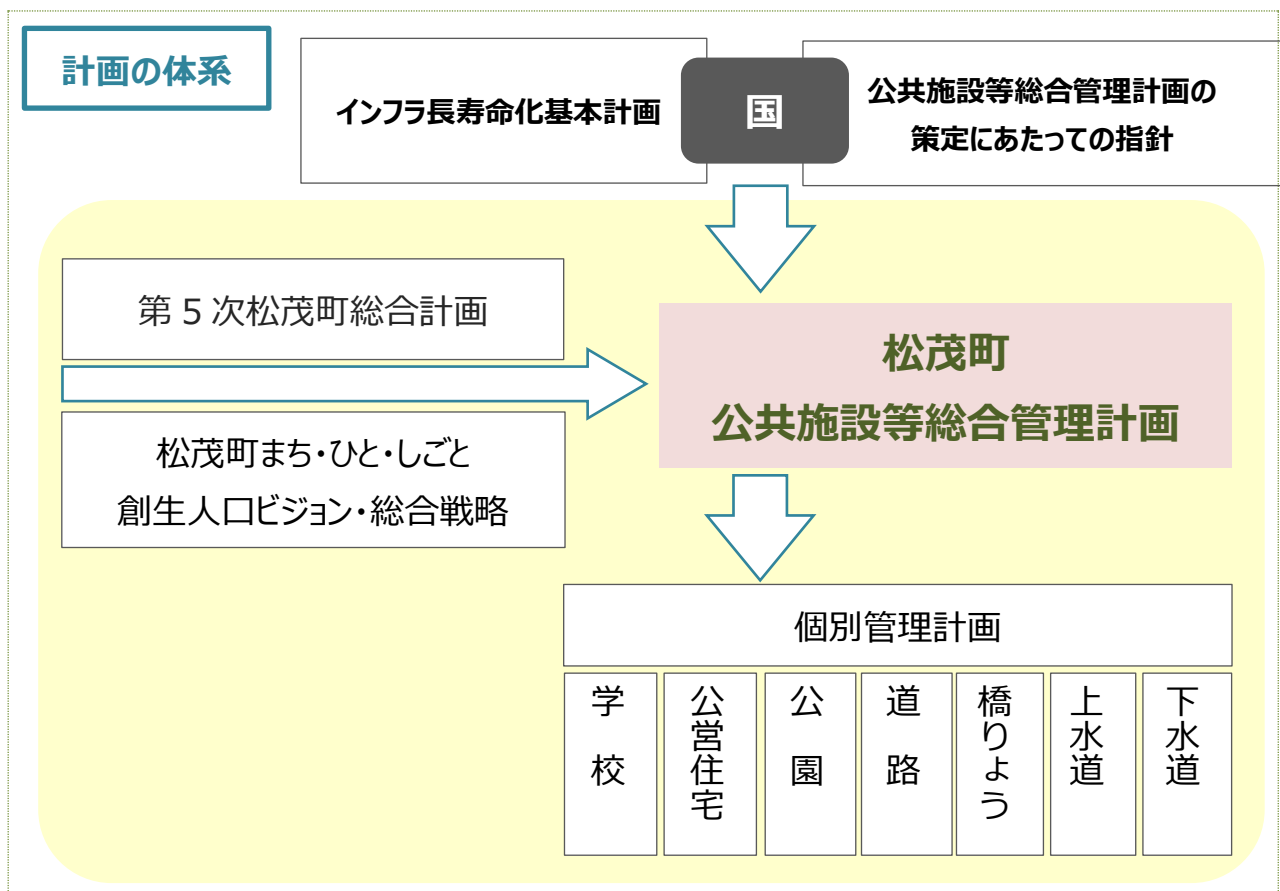
計画内容は社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても適宜見直しを行うものとします。

この改定版は 2021（令和 3）年度に改定を行ったものです。

3 本計画の位置づけと対象施設

本計画は、第5次松茂町総合計画に位置付けられた行財政改革の重要な柱とします。

本計画は、本町の行財政状況等を総合的に鑑みながら、公共施設等を総合的に管理するための計画であり、建物やインフラ施設にかかる個別の計画を包括する基本的な方針を定めるものです。



第2章

松茂町の概要

1 位置と地勢

●位置・地勢¹

本町は、徳島県の北東部にあり、徳島市、鳴門市及び北島町の二市一町に囲まれ町の東側は海に面しています。町域は東西に約 6.5km、南北に約 5.5km で、総面積は 14.34 km²、町内を旧吉野川と今切川が流れ、肥沃な三角州が町の大部分を占めています。

町内には徳島阿波おどり空港をはじめ、四国横断自動車道と松茂スマートインターチェンジ、高速バス停の設置等が進み、本町は国内外の人々が行き交う四国の交通の要衝です。また、県都徳島市や鳴門市に隣接している地理的条件を生かし、ベッドタウンとしての機能を持ち合わせており、若者や子ども・子育て家庭にも優しく、高齢者・障がい者の方も暮らしやすい、生活の利便性の高いまちでもあります。産業は、水産業や農業は昔から盛んに行われているほか、工業団地に多くの企業が立地しています。

海と川に囲まれた本町は、かつては水害もありましたが、現在では豊かな農地に加えて月見ヶ丘海浜公園・海水浴場等も整備され、水辺豊かな魅力ある町となりました。南海トラフ巨大地震発生に伴う津波対策等に万全を期し、豊かな自然の中で、安心して暮らせるまちづくりを進めています。



¹ 松茂町 HP より (<http://www.town.matsushige.tokushima.jp/docs/2015111800355/>)

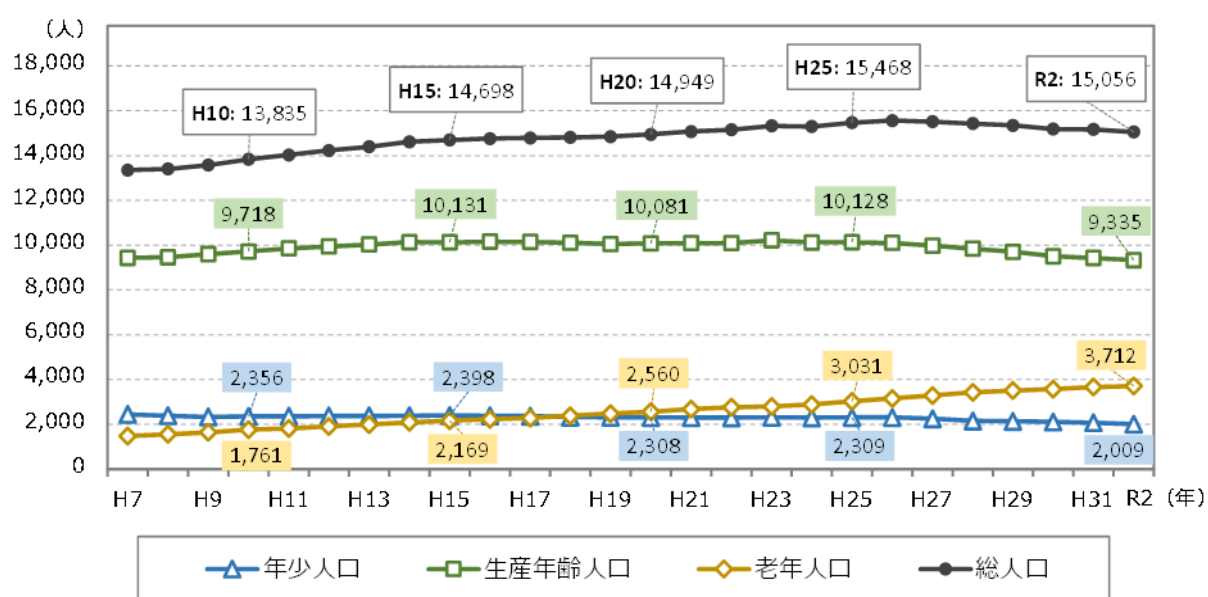
2 人口の動向と将来予測

●年齢3区分別人口と高齢化の推移

近年は、年少人口（15歳未満）と生産年齢人口（15歳以上～65歳未満）は減少傾向にあり、老年人口（65歳以上）は徐々に増加しています。

年少人口と生産年齢人口の減少、老年人口の増加という傾向がみられることから、今後も高齢化率が上昇していくことが予想されます。

人口の推移

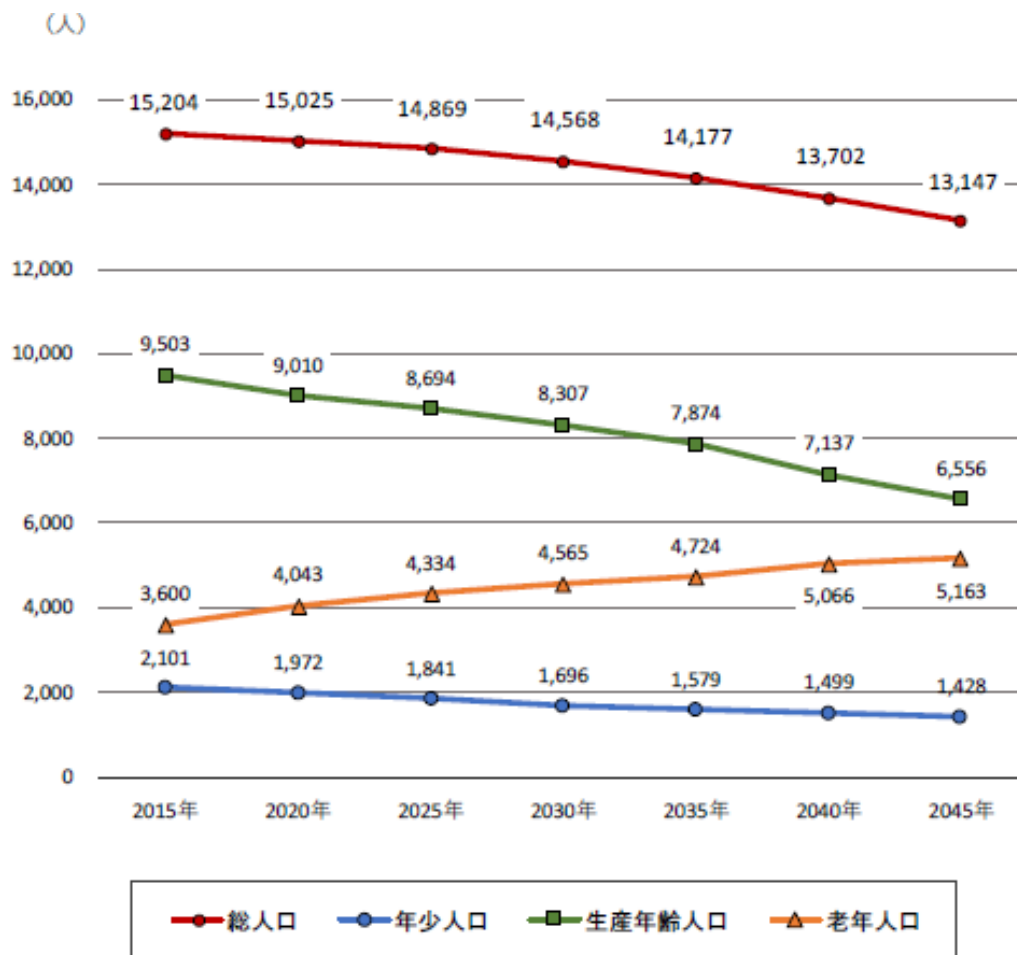


(第五次松茂町総合計画 後期基本計画 8頁より)

●人口の将来展望

国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という）が、平成 27（2015）年国勢調査の人口を基準に平成 30（2018）年 3 月に行った推計結果によると、町の人口は今後も減少を続ける見込みであり、令和 12（2030）年には 14,569 人、令和 22（2040）年には 13,702 人、令和 32（2050）年には 12,561 人となることが予測されています。

町の人口推計



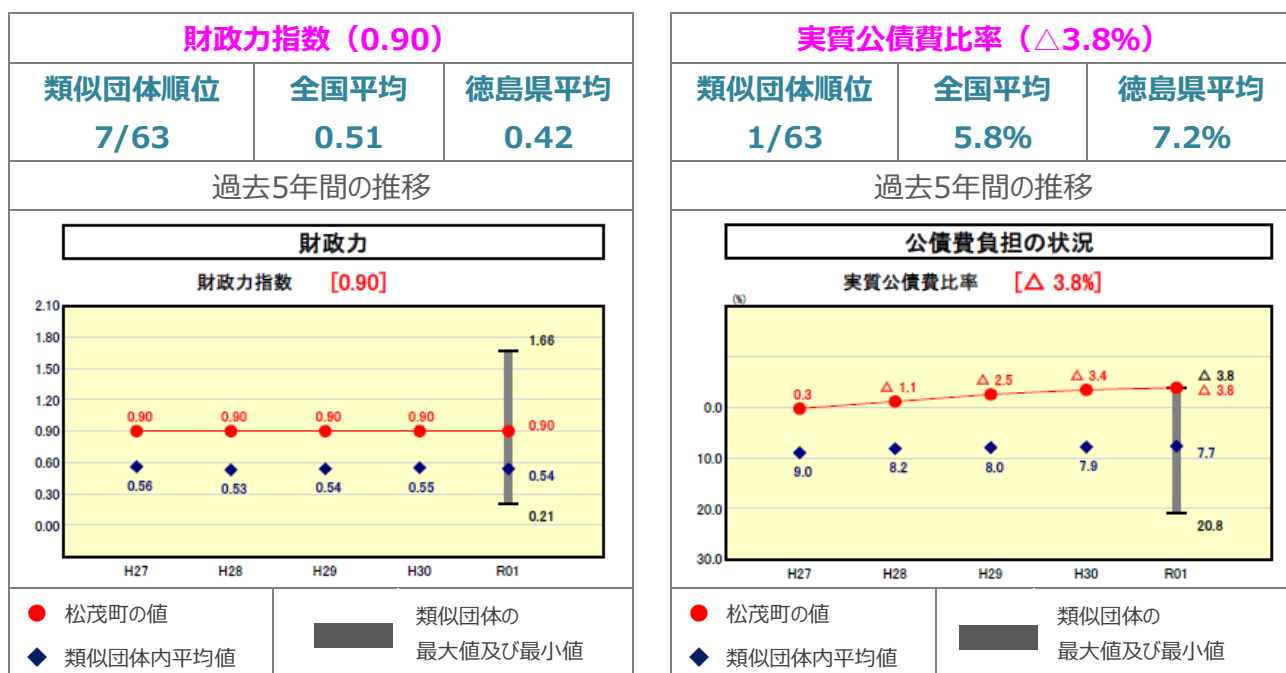
（ 第 2 期松茂町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略 19 頁より）

3 財政状況

本町の財政状況としては、2019（令和元）年度の地方公共団体の財政力を示す財政力指数²は0.90（県平均 0.42）となっており、県内トップの値となっています。要因としては、大型企業の工場を有する工業団地からの税収を大きく増やしているところにあります。

地方自治体における一般財源の規模に対する公債費の割合を示す実質公債費比率³については、△3.8%と起債抑制策の継続により良好な割合となっています。しかしながら、交流拠点施設整備を始めとする近年の大型事業や公営企業による起債が増加する見込みにあるので、楽観視できる状況にはありません。今後も公営企業会計を含めた起債計画により、中長期的視野での財政運営を行っていく必要があります。

今後、人口減少に伴い地方税収入の減少が見込まれることから、これまで以上に、歳入に係る地方交付税や国庫支出金等の依存財源の割合が増すことが考えられます。また、高齢化社会の進行による社会保障費の支出が歳出に占める割合が高くなることが予想されます。



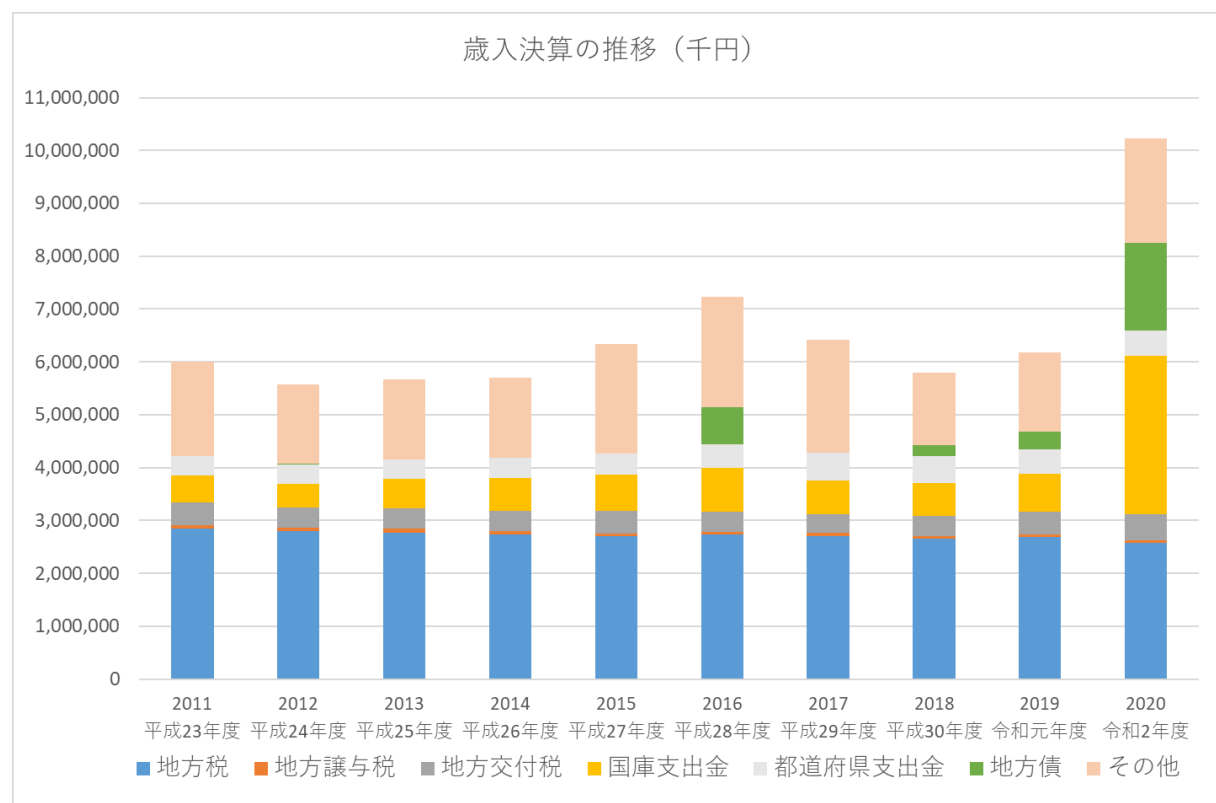
令和元年度 財政状況資料集 より

² 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高い（1.0に近い）ほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

³ 地方自治体における一般財源の規模に対する公債費の割合のこと。実質公債費比率が18%以上となる地方自治体は、地方債を発行するときに国の許可が必要になる。さらに、実質公債費比率が25%以上になると、単独事業のために債権を発行することができなくなる。2006年度導入。

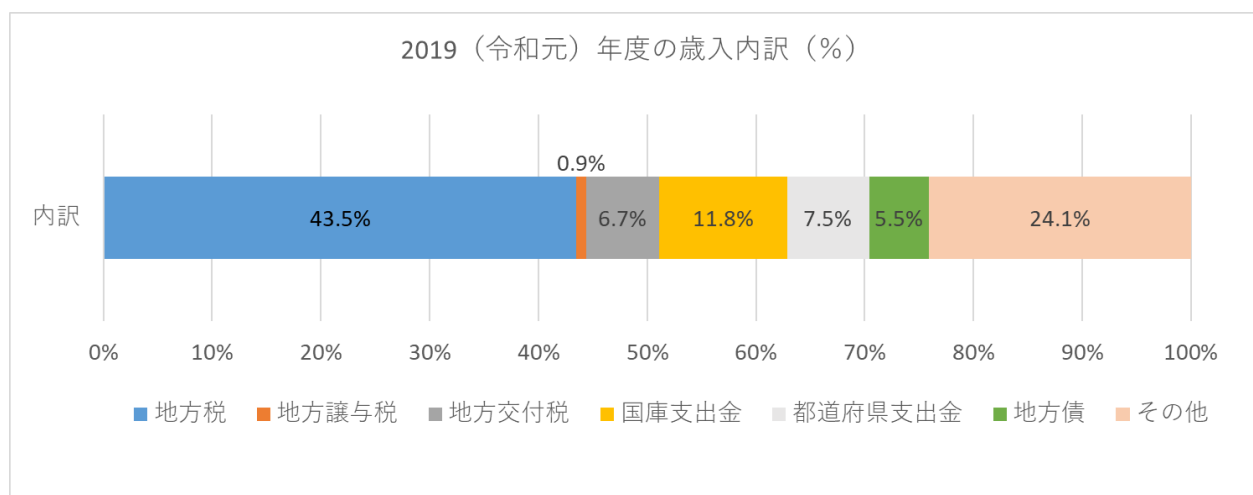
●歳入状況⁴

	2011 平成23年度	2012 平成24年度	2013 平成25年度	2014 平成26年度	2015 平成27年度	2016 平成28年度	2017 平成29年度	2018 平成30年度	2019 令和元年度	2020 令和2年度
地方税	2,840,723	2,795,143	2,771,382	2,739,437	2,698,398	2,730,235	2,710,836	2,651,900	2,686,948	2,581,308
地方譲与税	70,709	71,205	69,347	63,893	60,730	53,275	53,839	54,438	54,661	48,614
地方交付税	428,572	380,721	382,953	380,920	420,014	377,137	357,643	382,793	416,397	495,751
国庫支出金	518,440	451,340	557,686	616,559	692,427	829,736	638,901	618,442	725,768	2,982,064
都道府県支出金	357,130	363,390	368,324	378,437	394,117	445,496	523,907	513,058	464,465	478,475
地方債		10,000	9,700	1,200	0	700,000	0	207,600	338,600	1,668,152
その他	1,781,879	1,508,124	1,505,161	1,521,145	2,076,828	2,099,379	2,127,040	1,363,094	1,489,180	1,980,930
合計	5,997,453	5,579,923	5,664,553	5,701,591	6,342,514	7,235,258	6,412,166	5,791,325	6,176,019	10,235,294



2020（令和2）年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、その対策予算が大きく増えたことから、類を見ない決算となっています。

⁴ 平成23～令和2年度松茂町決算統計データより（普通会計）



歳入は、2017（平成 29）年度から 2019（令和元）年度まで 60 億円前後です。2016（平成 28）年度は庁舎改築工事のため、2020（令和 2）年度は特別定額給付金給付事業が実施されたため、2011（平成 23）年度以降で比較すると突出しています。

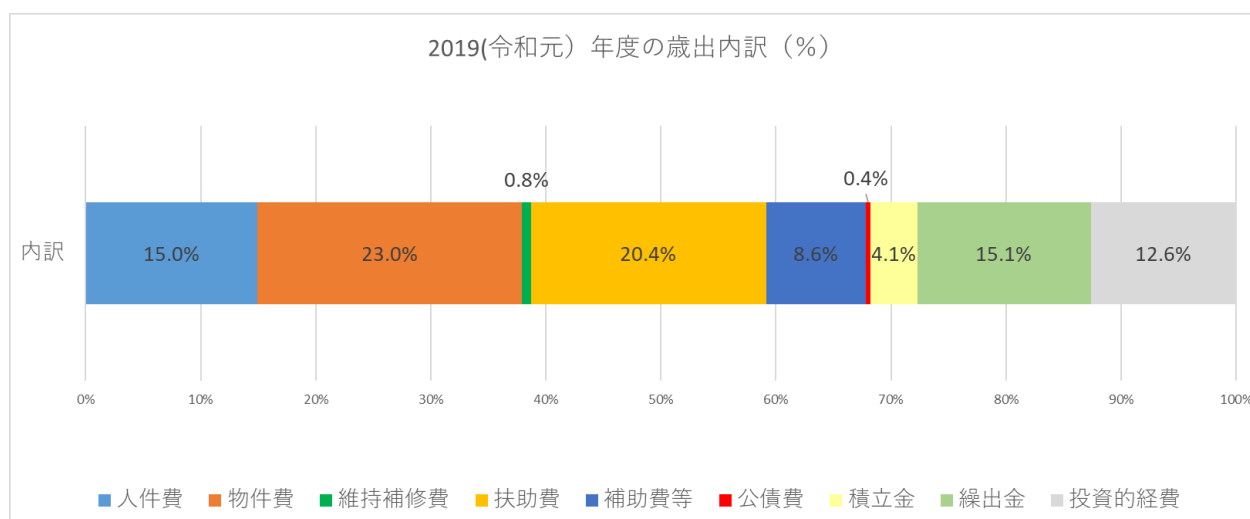
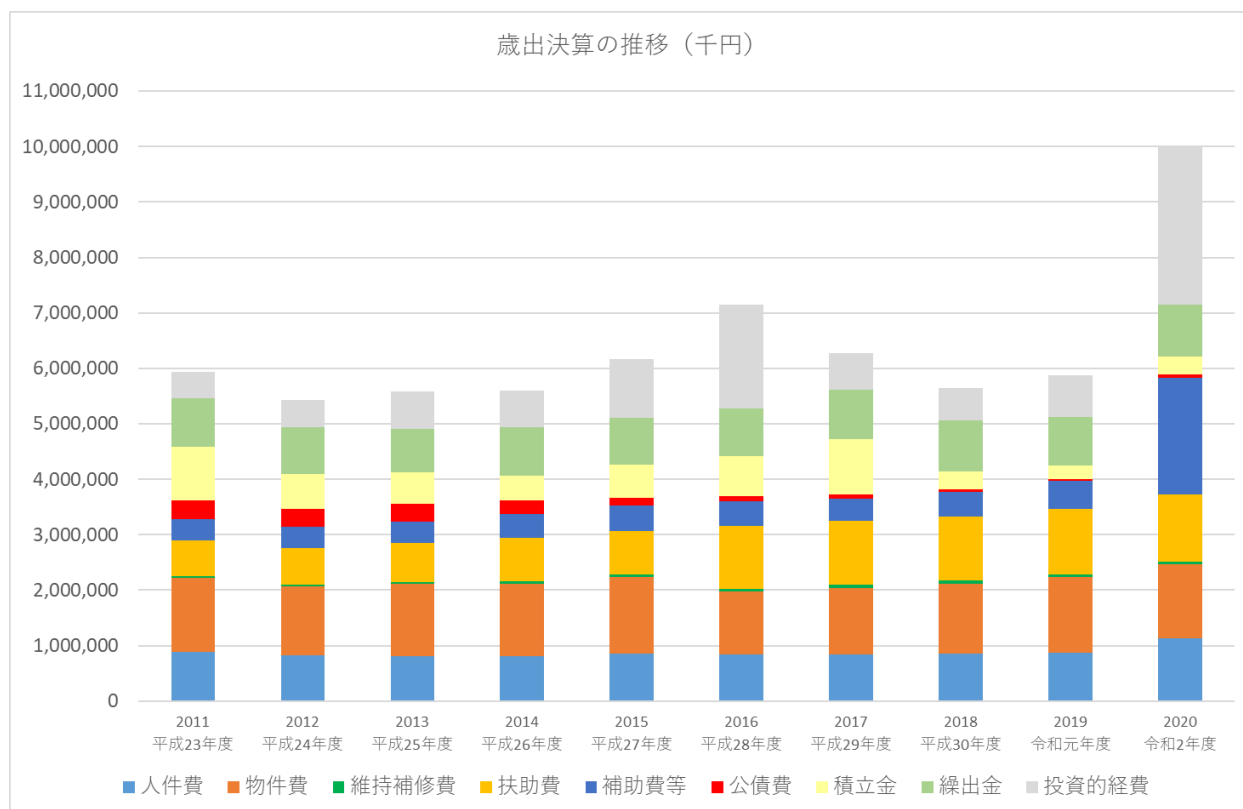
また、行政活動の自主性と安定性を確保できるとされている自主財源（町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料等）の割合は 2019（令和元）年度は 58.5%となっています。

●歳出状況⁵

	2011 平成23年度	2012 平成24年度	2013 平成25年度	2014 平成26年度	2015 平成27年度	2016 平成28年度	2017 平成29年度	2018 平成30年度	2019 令和元年度	2020 令和2年度
人件費	887,087	823,605	807,975	807,616	852,278	843,157	839,137	857,738	878,159	1,136,328
物件費	1,331,371	1,244,668	1,301,682	1,309,646	1,392,093	1,140,905	1,205,074	1,259,605	1,352,292	1,324,215
維持補修費	38,798	36,219	40,029	49,241	46,297	44,640	48,981	56,278	46,370	47,054
扶助費	640,364	649,543	702,459	777,570	772,669	1,125,709	1,154,644	1,155,906	1,194,501	1,213,813
補助費等	389,831	390,640	384,314	428,837	460,265	450,501	407,159	435,305	507,376	2,114,719
公債費	331,118	324,543	317,047	239,252	134,267	87,016	69,707	52,523	23,866	56,510
積立金	963,691	619,138	575,863	447,941	608,889	721,087	991,891	328,340	242,228	323,693
繰出金	871,685	849,440	777,340	885,796	842,556	857,007	903,940	911,969	885,860	931,266
投資的経費	486,359	493,005	673,948	655,960	1,063,127	1,885,946	647,392	590,776	741,776	2,853,379
合計	5,940,304	5,430,801	5,580,657	5,601,859	6,172,441	7,155,968	6,267,925	5,648,440	5,872,428	10,000,977

2020（令和 2）年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、その対策予算が大きく増えたことから、類を見ない決算となっています。

⁵ 平成 23～令和 2 年度松茂町決算統計データより（普通会計）



歳出は、2017（平成29）年度から2019（令和元）年度まで60億円前後です。2016（平成28）年度は、投資的経費⁶が多くなっていますが、庁舎改築事業が実施されたための増加となっています。また、2020（令和2）年度は補助費等と投資的経費が前年から大幅に上昇していますが、補助費等は特別定額給付金事業によるもので、投資的経費は交流拠点施設の建設や防災行政無線のデジタル化を実施したことによる増加となっています。

今後、高齢化に伴う社会保障費の増大に加え、公共施設の建替えや大規模な修繕が見込まれるため、費用は増加していくことが想定されます。

⁶ その経費の支出の効果が単年度また短期的に終わらず、固定的な資本の形成に向けられるもので、地方自治体の予算科目では、普通建設事業（補助事業と単独事業に分けられ、国の直轄事業負担金を含む）・災害復旧事業・失業対策事業を指すものとされている。

第3章

公共施設の現状及び将来の見通し

1 施設整備状況

本計画では、本町が対象とするすべての公共施設を、ハコモノとインフラに分けます。

また、それらの区分をさらに機能別に分類し整理を行いました。

なお、公共施設等の整備状況は2021（令和3）年度末の本町が管理する整備データを使用しています。加えて、これらの築年別整備状況、将来の更新費用の推計結果を掲載していますが、その算定には、公共施設等更新費用試算ソフト Ver.2.10⁷を使用しています。

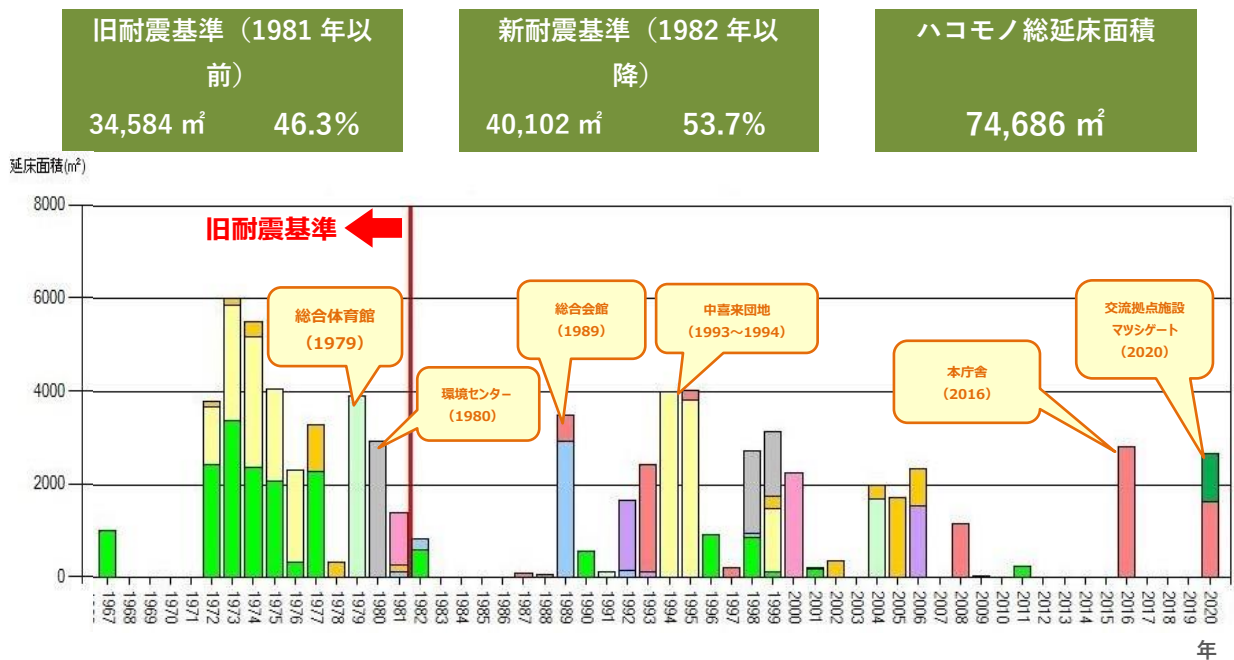
●ハコモノ⁸

	施設分類	小分類（本町の主な施設例）	延床面積
1	町民文化系施設	集会施設（公民館、コミュニティーセンター）	3,533.88 m ²
2	社会教育系施設	図書館、博物館等（歴史民俗資料館）	3,181.11 m ²
3	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設（体育館）	5,729.06 m ²
4	学校教育系施設	小学校、中学校	17,431.62 m ²
		その他教育施設（給食センター）	
5	子育て支援施設	幼稚園 幼児・児童・学習施設（児童館等）	5,555.90 m ²
6	保健・福祉施設	高齢者福祉施設（老人福祉センター） 保健施設（保健相談センター）	3,392.05 m ²
7	行政系施設	庁舎等（役場） 消防施設（消防団詰所） その他行政系施設（津波防災センター）	9,026.82 m ²
8	公営住宅	公営住宅（団地）	19,689.03 m ²
9	公園	公園（便所）、交流拠点施設	1,093.56 m ²
10	供給処理施設	供給処理施設（環境センター等）	6,052.72 m ²
合計			74,685.75 m ²

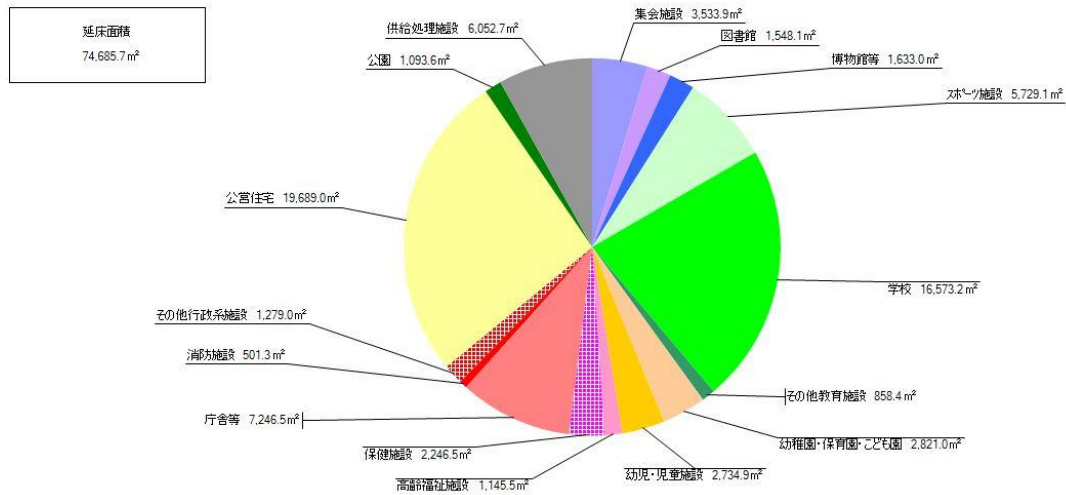
⁷ 一般財団法人地域総合整備財団

⁸ 平成28年3月31日時点における固定資産台帳（総務省：地方公会計制度）を基準とする。

年度別整備延床面積



建物面積の内訳



上図は、本町が現在保有しているハコモノ（公共施設）の建築年次ごとの延床面積を表しています。旧耐震基準で整備された施設が、全施設の46.3%を占めていることが分かります。本町では早くから公共施設の建設に着手したことが理由として挙げられ、1970年代から80年代にかけて特に顕著です。

建物内訳では、学校教育系施設が40.2%、公営住宅が30.4%で全体の70.6%を占めています。

旧耐震基準で整備された施設は、耐震化工事が完了しているとはいえ、建築後40年以上を経過している施設があります。また、新耐震基準以降に整備された施設においても、建築後30年以上を経過し、大規模改修が必要な時期を迎えつつあります。

道路・橋りょう

大分類	中分類	実延長	総面積
道路（町道）	1 級町道	7,638m	684,633 m ²
	2 級町道	14,550m	
	その他	108,381m	
橋りょう	橋りょう	1,568m	9,201 m ²

水道事業

大分類	中分類	管径	延長
水道事業	上水道事業	導水管 300～500mm 未満	950m
		送水管 300mm 未満	185m
		配水管 50mm 以下	34,802m
		配水管 75mm 以下	16,304m
		配水管 100mm 以下	9,453m
		配水管 150mm 以下	16,877m
		配水管 200mm 以下	16,318m
		配水管 250mm 以下	2,923m
		配水管 300mm 以下	5,486m
		配水管 350mm 以下	7m
		配水管 400mm 以下	1,829m
		配水管 500mm 以下	1,955m
	公共下水道事業	総延長	38,432m
	農業集落排水事業	総延長	17,356m

水道事業の建築物

施設分類	本町の主な施設	延床面積
上水道事業	浄水場	1,238.62 m ²
コミュニティプラント	污水处理場	498.55 m ²
農業集落排水事業	污水处理場	796.23 m ²
排水機場	排水機場	2,913.51 m ²

2 試算条件

現在本町が保有している公共施設等（ハコモノ・インフラ）を今後も保有し続け、耐用年数経過後に現在と同じ規模で建替え・更新を行うこととした場合に、今後 40 年間で必要となる費用の推計を行います。費用算定には、公共施設等更新費用試算ソフトを使用しています。

以下に、試算条件と更新単価を示します。

●試算条件

・更新費用の推計額

事業費ベースでの計算とする。

・計算方法

耐用年数経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定して計算する。

延床面積×更新単価

・更新単価

算定時に自治体で採用されている標準的な単価を使用する。また、建替えに伴う解体、仮移転費用、設計料等については含むものとして想定している。

・大規模改修単価

建替えの 6 割と想定し、この想定単価を設定する。

・耐用年数

標準的な耐用年数とされる 60 年を採用することとする。
（日本建築学会「建物の耐久計画に関する考え方」より。）

・大規模改修

建設後 30 年で行うものとする。

・地域格差⁹

地域格差は考慮しないものとする。

・経過年数が 31 年以上 50 年までのもの

今後 10 年間で均等に大規模改修を行うものとして計算する。

・経過年数が 51 年以上のもの

建替え時期が近いので、大規模改修は行わずに 60 年を経た年度に建替えるものとして計算する。

・耐用年数が超過しているもの

今後 10 年間で均等に更新するものとして計算する。

・建替え期間

設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、建替え期間を 3 年間として計算する。

・修繕期間

設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、修繕期間を 2 年間として計算する。

⁹ 公共施設等の建築物の更新単価については、建築コストの地域差が考えられるが、国土交通省の新営予算単価による地域別工事費指数では、東京を 100 とした地域別の差は概ね±10 の範囲であるため、更新単価において地域差は考慮しないこととする。

●更新単価¹⁰

◆ハコモノ

	大規模改修	建替え
町民文化系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
社会教育系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
スポーツ・レクリエーション系施設	20 万円/m ²	36 万円/m ²
産業系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
学校教育系施設	17 万円/m ²	33 万円/m ²
子育て支援施設	17 万円/m ²	33 万円/m ²
保健・福祉施設	20 万円/m ²	36 万円/m ²
行政系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
公営住宅	17 万円/m ²	28 万円/m ²
公園	17 万円/m ²	33 万円/m ²
供給処理施設	20 万円/m ²	36 万円/m ²
その他	20 万円/m ²	36 万円/m ²

◆インフラ

	大規模改修	建替え
道路（町道）	15 年	4,700 円/m ²
橋りょう	60 年	44.8 万円/m ²
上水道施設	60 年	9.7～12.8 万円/m
下水道施設	50 年	12.4 万円/m

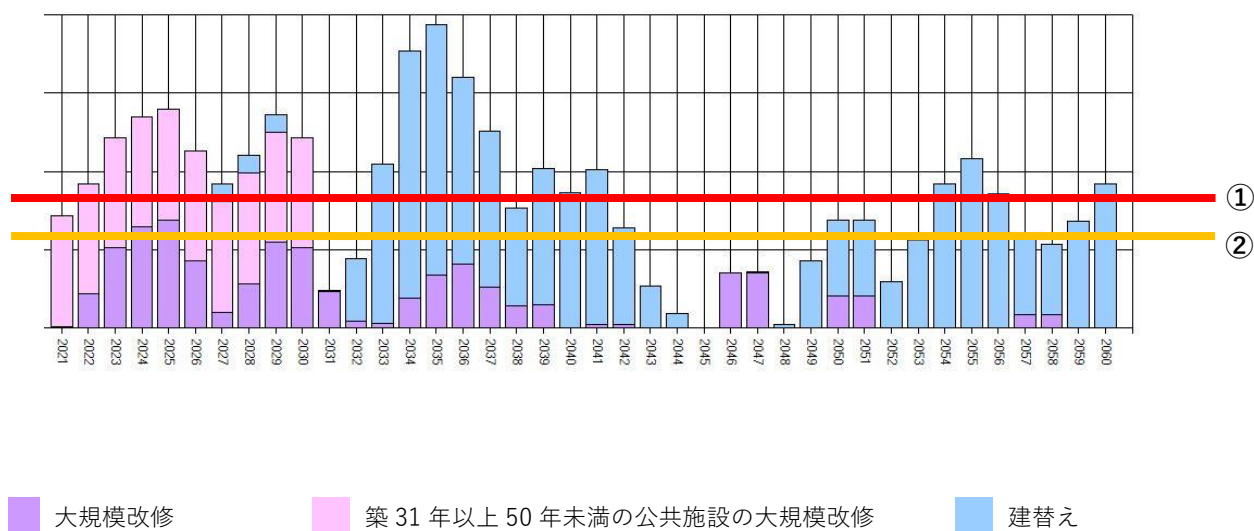
¹⁰ ハコモノにおいて、「産業系施設」及び「その他」に分類するものは本町では該当なし。

3 ハコモノの将来更新費用推計

以下は、ハコモノの今後 40 年間で必要となる費用の推計を示しています。本町が所有する公共施設について、現状規模のまま建替えを行った場合、2060（令和 42）年度までに約 332 億 7 千万円の更新費用を要し、40 年間で平均すると、毎年約 8 億 3 千万円かかる試算となりました。過去 5 ヶ年の中で、大規模建設のあった 2016（平成 28）年度（中央庁舎建設）及び 2020（令和 2）年度（マツシゲート建設）を除く 3 ヶ年（2017 年から 2020 年）の投資的経費と用地取得費の平均額が約 5 億 5 千万円であることから、現在の公共施設にかかる投資的経費の約 1.5 倍になります。

この推計結果より、本町ではすでに公共施設の大規模改修の時期に差し掛かっており、今後 10 年間に大規模改修に多額の費用が発生すると見込まれています。加えて、2033（令和 15）年度以降は建替えによる多額の費用の発生が見込まれています。

40 年間の更新費用総額	332.7 億円	
年度更新費用（平均額）の試算	8.3 億円	・・・ ①
過去 3 ヶ年の投資的経費と用地取得費の平均額	5.5 億円	・・・ ②



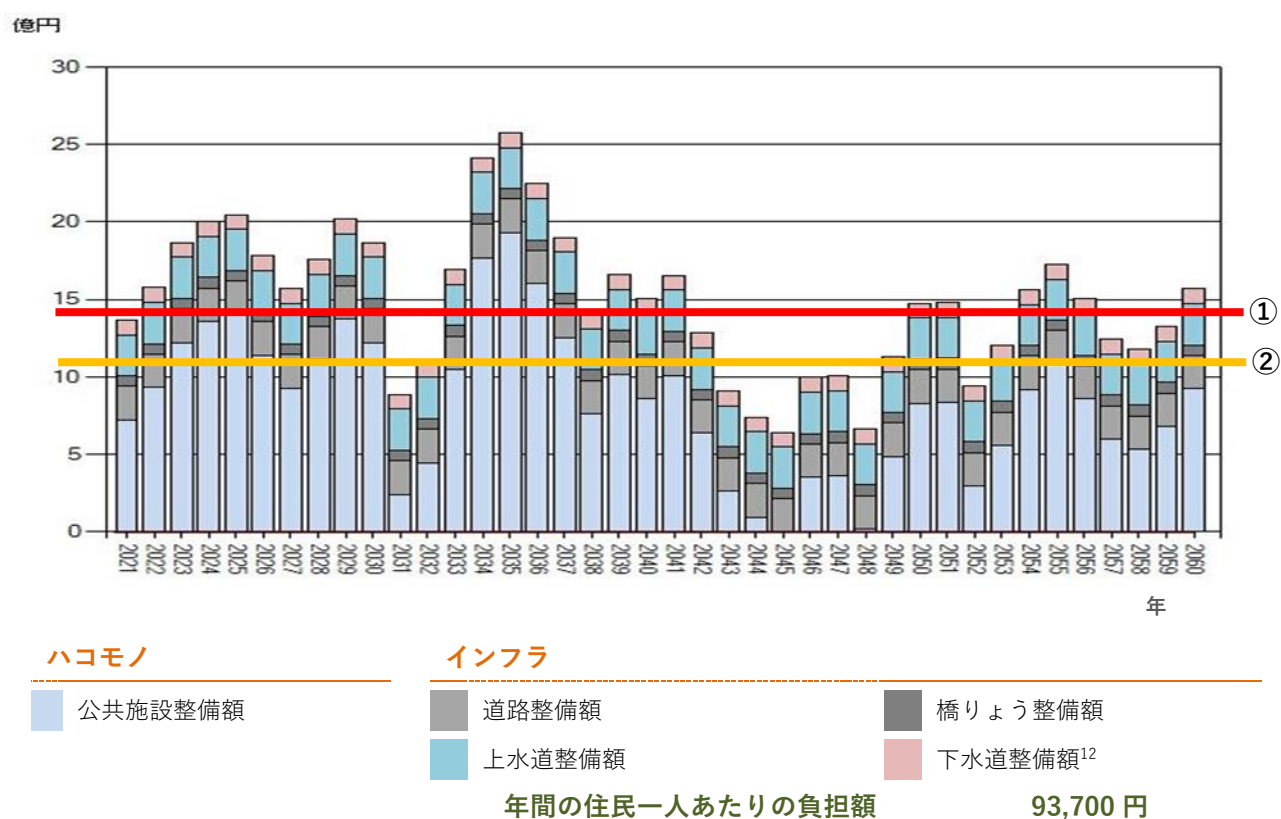
年間の住民一人あたりの負担額¹¹ 55,800 円

¹¹ 14,859 人：広報まつしげ（2021.5）より令和 3 年 4 月 1 日現在

4 ハコモノ＋インフラの将来更新費用推計

以下は、前頁で示したハコモノに加え、インフラ（道路、橋りょう、上下水道施設）を含むすべての公共施設の将来の更新費用を推計したものです。すべての施設について、大規模改修を実施し、現状規模のまま更新を行った場合、2060（令和42）年度までに596億円の更新費用を要し、40年間で平均すると、毎年約14億9千万円かかる試算となりました。過去5ヵ年の中で、大規模建設のあった2016（平成28）年度（中央庁舎建設）及び2020（令和2）年度（マツシゲート建設）を除く3ヵ年（2017年から2020年）の投資的経費と用地取得費の平均額が約11億6千万円であることから、現在の公共施設にかかる投資的経費の約1.3倍になります。町有の多くの施設が老朽化しており、今後の公共施設等の更新（建替え）や維持管理に対しての財源配分を適正に行うことが必要になります。

40年間の更新費用総額	596億円	
年度更新費用（平均額）の試算	14.9億円	・・・ ①
過去3ヵ年の投資的経費と用地取得費の平均額	11.6億円	・・・ ②



¹² 公共下水道事業とコミュニティプラントと農業集落排水事業、排水機場分を含む

1 基本方針について

本町は、住民に必要最小限の施設を配置し、地域ごとの人口格差が顕著な場合に検討することが望まれる「施設の再配置」という課題は、現時点では想定されにくいものだと考えています。

また、本町が保有するハコモノ（公共施設）に関しては、現有の公共施設の総量を縮減するには、類似施設の統廃合・集約化によって生まれた余剰施設を縮減することが考えられますが、本町の現状ではこうした対応は当てはまりにくく、本計画期間内では、単純に「総量の縮減」を数値目標として掲げることは考えにくいものです。さらに、インフラについても、住民生活や地域経済を支える重要な社会基盤であることから、単純に総量縮減の対象とすることにはなじまないと考えています。ついては、公共施設等を、時代の変化に適合させ、多くの住民に効果的に活用してもらうための取組みを進めるために以下を示します。

●事後保全から予防保全へ

- ・施設等に不具合が生じる前に予防的に対策を行います。

●長寿命化・維持補修を計画的に行い、更新費用の平準化を行います

- ・中期財政収支を作成する中で、修繕計画の把握に努め、計画的な施設管理を行います。

●住民ニーズに対応した施設の活用

- ・施設機能のあり方や今後のあり方について分析、検討し、利用状況等を考慮した有効活用を図ります。

今後、新しく施設を造る際は、複合化を検討します。また、行政サービス水準を確保しつつ、長寿命化対策、維持や補修等を適正に行い機能維持に努めるほか、既存施設の有効活用を図っていきます。しかし、老朽化や住民のニーズに応じるために新設が必要な場合は、施設の改修・更新にかかる将来コストの試算や、中長期的な総量規制の範囲内で費用対効果等を考慮していきます。

現状の投資額をできるだけ維持し、その範囲内で、費用対効果や経済波及効果等を考慮し、新設及び改修・更新をバランスよく実施していきます。恒久的な点検を行い、現状把握を怠らず、劣化や損傷が分かり次第、迅速な対応を行います。長寿命化を可能な限り図るとともに、計画的、効率的な改修・更新を推進、ライフサイクルコストを縮減します。

2 維持管理方針

①点検・診断等の実施方針

公共施設等の機能を可能な限り少ない経費で長期間維持させるために、劣化が進んだ公共施設等の補修を行うのではなく、劣化が進む前に計画的な点検や劣化診断を図ることを検討します。また、点検・診断等の履歴を集積・蓄積することで、修繕、更新等の実施時期や老朽化対策における検討を行う上での基礎資料に活かしていきます。

点検・診断等の評価項目と内容（FM 評価手法・JFMES13 マニュアル(試行版)を参考）

評価項目			内 容
安全性	①	安全性	敷地安全性（耐災害）、建物耐震・耐風・耐雪・耐雨・耐落雷安全性、防火安全性、事故防止性、防犯性、空気質・水質安全性
	②	耐久性	建物部位（構造・外装など）の耐久性・劣化状況
	③	耐用性	経過年数と耐用年数、変化に対する追従性、計画的な保全・大規模改修
	④	保全性	維持容易性、運営容易性、定期検査の履行
	⑤	適法性	建築法規、消防法、条例
機能性	⑥	不具合性	施設各部位（構造・仕上・付帯設備・建築設備）の不具合性
	⑦	快適性	施設快適性（室内環境・設備）、立地利便性
	⑧	情報管理の妥当性	情報収集、情報管理、情報利活用
環境性	⑨	環境負荷性	施設の環境負荷性（省エネ、有害物質除去など）
社会性	⑩	社会性	地域のまちづくりとの調和、ユニバーサルデザイン（バリアフリー化）
	⑪	顧客満足度	顧客満足度、職員満足度
	⑫	施設充足率	地域別施設数量の適正性、用途別施設数量適正性、余剰スペース
	⑬	供給水準の適正性	供給数量適正性（敷地面積、建物面積など）
	⑭	施設利用度	施設利用率、空室率
経済性	⑮	体制・組織の妥当性	統括管理体制、管理体制、トップマネジメントへの直属性
	⑯	点検・保守・改修コストの適正性	点検・保守費、清掃費、警備費、改修費・大規模改修費、更新費
	⑰	運用コストの適正性・平準化	運用費、水道光熱費
	⑱	ライフサイクルコストの適正性	ライフサイクルコスト

②安全確保・耐震化の実施方針

点検・診断等によって、危険性が高いと認められた施設や、老朽化の著しい施設については、安全の確保を優先させ、緊急的に対策を講じます。

また、地震や水害といった自然災害から住民の命を守るための対策を講じます。

災害時の拠点になりうる公共施設等とはとりわけ、安全・機能確保を図っていくことが必要です。耐震化が完了していない施設は耐震診断及び補強を実施していきます。

安全確保の評価方法(FM 評価手法・JFMES13 マニュアル(試行版)を参考)

評 価 項 目			内 容
耐用性			
耐久性	耐用年数	経過年数	経過年数の割合（％）
		耐用年数（償却）	法定耐用年数
	耐久性	構造材耐久性	構造耐用年数と築年との差
		外壁・屋根耐久性	外壁屋根耐用年数と改修年との差
付属設備耐久性		設備耐用年数と改修年との差	
不具合	構造の不具合	基礎・躯体	沈下・亀裂・欠損の状況
		土台	腐食、欠損の状況
		柱・梁、壁、床等	亀裂、脱落、腐食、欠損、ゆるみの状況
	外部仕上の不具合	屋根	排水良否、雑草有無、防水層膨れの状況
		外壁・屋根	剥落、落下、ひび割れの状況
		窓枠、サッシ、ガラス	腐朽、ゆるみ、シーリングの状況
	内部仕上の不具合	天井	たるみ、亀裂、剥落、落下の有無
		内壁	割れ、はがれ、変色の有無
		床	割れ、はがれ、変色の有無
	付帯設備の不具合	煙突、屋外階段	傾斜、亀裂、腐食、剥落、支持金具の状況
		広告塔、吊看板等	浮き上がり、腐食、ゆるみの状況
	建築設備の不具合	電気設備機器本体	亀裂、損傷、サビ、腐食、摩耗、ゆるみの状況
		給排水衛生設備機器本体	亀裂、損傷、サビ、腐食、摩耗、ゆるみの状況
		空調換気設備機器本体	亀裂、損傷、サビ、腐食、摩耗、ゆるみの状況
		搬送設備機器本体	亀裂、損傷、サビ、腐食、摩耗、ゆるみの状況
		その他設備機器本体	亀裂、損傷、サビ、腐食、摩耗、ゆるみの状況

安全性			
敷地の安全性	自然災害回避性	地震、土砂、浸水災害	液状化、警戒区域、危険区域等の有無
敷地安全対応策	地盤安定性	地盤沈下、地盤崩壊、湿潤地域の有無	
緊急自動車接近	道路幅員		
地盤調査結果	軟弱地盤、盛土、埋立地の有無		
建物の安全性	構造安全性	基礎の安全性	安全要件の満足度
地震安全性	建築年	1981年6月以前	
耐震補強	有無		
免震、制震	有無		
対落雷安全性	避雷針	有無	
火災の安全性	耐火、避難、消化安全性	延焼防止、避難経路確保、消火活動・経路確保	防火性能、避難路の状況、防火設備の状況
生活環境の安全性	空気質安全性	空気質安全性の確保	ホルムアルデヒド・トルエン等の状況
水質安全性	水質検査	有無	
傷害・損傷防止性	転倒・転落防止性	転倒・転落防止に対する安全要件の満足度	
落下物防止性	落下物防止に対する安全要件の満足度		
有害物質排除性	アスベスト、PCB、フロン・ハロン対策	排除状況	
公害防止性	日照・通風障害、電波障害、外構の維持	防止要件の満足度、保全要件の満足度	

③維持管理・修繕・更新等の実施方針

本町では、すでに大規模改修の時期に差し掛かっており、2034（令和 16）年からは、建替え費用の増大が見込まれています。計画期間を超える長期的な視点に立ち、施設の老朽化の状況を的確に把握した上で、年度ごとの更新費用の軽減及び平準化につながる維持管理、修繕、更新等の優先順位を整理し、実施していきます。

④長寿命化の推進方針

長寿命化については、持続可能な財政運営の観点から、長期的に見たライフサイクル費用の削減とともに、将来更新費用の平準化にも主眼を置いて実施していきます。

特に、公共施設等については、劣化が進む前に計画的に点検・劣化診断を行い、計画的な維持管理・更新を行うことで施設の長寿命化を図ることを目標とします。

また、インフラ施設についても、定期的な点検・診断等により劣化・損傷の程度や原因等を把握し、計画的な修繕・更新を検討します。

⑤統合や廃止の推進方針

本町における人口構造の変化は緩やかであり、公共施設等に対するニーズは現状から大きくは変化しないものと想定されるため、施設の統合や廃止の可能性は低いものと考えられます。

しかし、今後の財政状況や、施設の利用状況、行政サービス需要等の変化に応じて、近隣での類似機能を持つ施設の共有や施設規模の効率化の観点も含めて、公共施設等の集約化や廃止等の検討が必要な場合は、適宜検討を図ります。

統合・廃止への診断項目(FM 評価手法・JFMES13 マニュアル(試行版)を参考)

診断結果	取組の方向性	
	ハード面	ソフト面
継続使用	・ 長期修繕計画の策定 ・ 計画保全の考えに基づき計画的な維持修繕を実施	・ 効果的かつ効率的な運用を検討 ・ それに伴う改善策を検討
改善使用	・ 長期修繕計画の策定 ・ 計画保全の考えに基づき計画的な維持修繕を実施 ・ 建替更新時の規模縮小の検討 ・ 多用途との複合化など、施設の有効活用の検討 ・ PPP/PFIの活用等による用途変更	・ 利用者増加など、利用状況改善に向けた改革等を検討 ・ 利用者ニーズを踏まえ、提供するサービスの充実や取捨選択を検討 ・ 運用の合理化を検討
用途廃止	・ 空いた施設の利活用 (多用途への変更、民間への貸与等)の検討	・ 用途廃止の代わりに、類似民間施設への移転（サービス転化）等を検討
施設廃止	・ 施設廃止後は、建物解体 ・ 施設廃止に伴う跡地は原則売却	・ 類似施設への統合を検討 ・ 他施設との複合化を検討 ・ 用途廃止の代わりに、類似民間施設への移転（サービス転化）等を検討

⑥ユニバーサルデザイン化の推進方針

「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」（ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議決定）におけるユニバーサルデザインのまちづくりについての考え方を参考に、ユニバーサルデザインへの対応が十分でない施設については、順次、全ての施設利用者にとって使いやすい施設となるように改修を実施していきます。

3 公共施設マネジメントの基本方針

①公共施設等の情報一元化

【固定資産台帳の整備】

2018（平成30）年3月末までの統一基準による財務書類作成、2020（令和2）年4月までを集中取組期間としての公営企業会計法適用化にあわせて、これら制度改革の中核をなす固定資産台帳整備を進めています。固定資産台帳整備によって、取得価額や耐用年数等のデータを網羅的に把握し、資産の取得から除売却に至るまでの経緯を管理します。これによって公共施設等の維持管理・修繕・更新等にかかる経費の試算を算出していきます。

【固定資産台帳の活用】

固定資産台帳を核としながら、公共施設等の維持管理にかかる費用状況、修繕や改修履歴等の建物状況、稼働率等の利用状況のデータを一元的・経年的に管理蓄積していくことで、将来的な中長期修繕計画や施設評価への活用を検討します。

【計画実現体制の構築】

情報を一元化し可視化することで、従来の縦割りによる施設ごとの管理状況から全体を俯瞰的に捉えることのできる環境を構築し、固定資産台帳の整備と活用を新地方公会計制度の適用とあわせて全庁的研修に取り組む等、計画推進に必要となる組織体制の構築もめざします。

②公共施設等の総量適正化

【将来費用の縮減】

公共施設等は、保有していること自体が維持管理に関する将来の費用発生要因となります。

したがって、将来費用縮減のためには、公共施設の総量を現状以上にむやみに増やさないようにすることが最も重要となります。

必要な施設の整備を行いつつも、将来の人口減少を見据えて、新規の施設整備では、施設需要や施設維持にかかる費用等の将来予測を踏まえ、本町の身の丈に応じた総量の範囲内となるよう全体最適の視点で検討します。

【需要と供給の視点】

公共施設等には様々な施設需要があり、まちづくりを進める上での重要な要素となるものです。しかし、公共施設等に求められる「機能」と物理的な「施設」とを区分し、施設ありきではなく「機能」に着目する必要があります。

行政が必ずしも「施設」を所有せずとも、民間活力の導入によって「機能」を満たす方策や、施設の複合化による需要と供給の集約化等、公共施設等の「需要」に対する「供給」の視点について、その手法について幅広く検討する必要があります。

③公共施設等の予防保全

【公共施設等の予防保全】

公共施設等の機能を安全・安心な状態で供給し、施設をできるだけ長持ちさせるためには、老朽化等による不具合を早期に発見することが必要です。日常の管理点検から、施設の耐用年数に応じて老朽化が一定程度進んだ段階での劣化診断、必要に応じて詳細診断を実施するメンテナンスサイクルの確立を検討していきます。

日常から施設の適正利用や日常管理点検を行い、老朽化に対応した、施設の劣化診断や施設の詳細診断を行うこととします。施設の点検診断によって早期発見と早期対策に努めることで、施設の大規模修繕をできるだけ回避して、施設の長寿命化と修繕費の軽減を図っていきます。

【公共施設等の経費削減】

公共施設等は保有していることで、光熱水費、建物管理委託費、使用料及び賃借料、改修費等施設にかかる経費が発生します。

経常的な経費削減に努め、公共施設等の維持管理にかかる財政負担を軽減します。

④広域連携について

【広域連携の推奨】

公共サービスの提供には、一つの自治体で全ての整備・管理を行うことに留まらず、国や県をはじめ、周辺自治体との施設相互利用を行うといった広域連携の検討が推奨されています。

同等の機能を有する施設を周辺自治体で共同利用することは、稼働率の向上、施設数や維持管理コスト抑制が期待できます。また、災害時の避難場所、避難経路の迅速な対応にも周辺自治体との情報共有は必要です。人命を守るといった観点からも、広域連携の在り方を進めていきます。

4 中長期的な維持管理・更新等に係る経費の見込み

本町の公共施設等の中長期的な維持管理・更新等に係る経費の見込みについては、策定済みの各種個別施設計画等をもとに以下のように見込みをたてました。

● 今後 10 年間の維持管理・更新等に係る経費の見込み

(単位：百万円)

		維持管理・ 修繕	改修	更新等	合計 (+ +)	耐用年数経過時 に単純更新した 場合	長寿命化対策等 の効果額 (-)	現在要している 経費(過去5年 間平均)
普通 会計	建築物(a)	424	519	4,673	5,616	8,300	2,684	1,249
	インフラ(b)	63	116	1,045	1,224	1,650	426	122
	計(a + b)	487	635	5,718	6,840	9,950	3,110	1,371
公営 企業 会計	建築物(c)	0	0	0	0	0	0	0
	インフラ(d)	1,106	0	2,268	3,374	4,950	1,576	337
	計(c + d)	1,106	0	2,268	3,374	4,950	1,576	337
建築物計(a + c)		424	519	4,673	5,616	8,300	2,684	1,249
インフラ計(b + d)		1,169	116	3,313	4,598	6,600	2,002	460
合計(a + b + c + d)		1,593	635	7,986	10,214	14,900	4,686	1,709

5 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策

全庁的な取組体制（フォローアップ体制）

公共施設等総合管理計画策定の主眼は、公共施設等の更新や維持補修費に係る財政負担の軽減・平準化に置いています。そのため、本計画は常に財政計画との整合性が必要となることから、財政計画を所掌する総務課が中心となり、かつ、各公共施設等の所管部署との既存の庁内会議を随時に活用しつつ、効果的で効率的な推進体制づくりを行います。これは、今後のフォローアップにも言えることであり、計画の確実な実行に向けた進行管理を行います。

第 5 章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

次に、施設（建物）ごとの現況調査との管理に関する方針（以下「施設カルテ」という。）を提示します。これは、将来、個別施設計画を策定・推進するための基礎となる資料です。第 4 章で述べた方針に加え、「施設カルテ」に記載の情報を共有し、今後の把握・分析に利用していきます。

次ページから、対象となる公共施設等を施設（建物）ごとに「施設カルテ」により掲載します。

なお、「【4】評価」と「【5】取り組み状況や今後の方針」については、施設の①利活用②品質③コストの 3 つの適正性の考え方をまとめました。

① 施設の利活用方針に関する基本的な考え方

・・・施設の中長期的な利活用・更新の方針、施設数や敷地面積に関する考え方等

② 施設の品質の適正性に関する基本的な考え方

・・・施設の維持・管理の方針、災害等に対する安全確保、耐震化、長寿命化に関する考え方等

③ 施設のコストの適正性に関する基本的な考え方

・・・施設の省エネ対策、コスト削減、経営の合理化・効率化に関する考え方等

凡例

施 設 カ ル テ								(令和 4 年 3 月現在)		
施設類型				現 況 写 真						
【1】施設名称										
<例>〇〇センター										
【2】所在地										
〒771-02△△ 松茂町〇〇〇〇										
【3】建物情報										
構 造	〇〇造	階 数	△ 階	建 延	べ 床 面 積	△△△.△△㎡				
建 築 年	△△△△年△月		<例>平成△△年	築	年 数	築 △△ 年				
【4】評価										
①耐震安全性評価										
基 準	新 ・ 旧		診 断	一 ・ 済		補 強	一 ・ 済			
②劣化状況評価 ※公営住宅については別の項目・基準により評価										
屋 根 ・ 屋 上	A～D・一		外 壁	A～D・一		内部仕上げ	A～D・一		電気設備	A～D・一
機 械 設 備	A～D・一		健 全 度 / 100 点		△△		点			
【5】取り組み状況や今後の方針										
□□□□□□□□□□□□□□、□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□。										

施設カルテ

1.町民文化系施設－1.集会施設

【1】施設名称

公民館（総合会館内）

【2】所在地

〒771 - 0295
松茂町広島字東裏30番地

【3】建物情報

構　造	RC	造階数	4	階建	延べ床面積	1287.63	m ²
建築年	1989年4月		平成元年4月		築年数	築　33	年

【4】評価

耐震安全性評価

基準	新	診断	—	補強	—
----	---	----	---	----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	B	外　　　壁	B	内部仕上げ	B	電気設備	C
機械設備	C	健全度 / 100点		66	点		

【5】取り組み状況や今後の方針

維持管理の中で定期点検を行い、各関係者と修繕を見据えた協議を始める。



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

1.町民文化系施設－1.集会施設							
【1】施設名称							
長岸コミュニティセンター							
【2】所在地							
〒771 - 0211 松茂町長岸字六反野188-3、188-4							
【3】建物情報							
構 造	W	造	階 数	1	階 建	延べ床面積	99.37 m ²
建 築 年	1999年3月		平成11年3月		築 年 数	築 24	年
【4】評価							
耐 震 安 全 性 評 価							
基 準	新		診 断	－		補 強	－
劣 化 状 況 評 価							
屋 根 ・ 屋 上	B	外 壁	B	内 部 仕 上 げ	B	電 気 設 備	B
機 械 設 備	B	健 全 度 / 100 点		75	点		
【5】取り組み状況や今後の方針							
部分的に劣化が見受けられる。維持管理の中で定期点検を行う。							



施設カルテ

1.町民文化系施設－1.集会施設							
【1】施設名称							
満穂コミュニティセンター							
【2】所在地							
〒771 - 0214 松茂町満穂開拓67-3							
【3】建物情報							
構 造	RC	造 階	数	1	階 建	延べ床面積	132.93 m ²
建 築 年	1982年8月		昭和57年8月		築 年 数	築 40	年
【4】評価							
耐 震 安 全 性 評 価							
基 準	新		診 断	－		補 強	－
劣 化 状 況 評 価							
屋 根 ・ 屋 上	B	外 壁	B	内 部 仕 上 げ	C	電 気 設 備	C
機 械 設 備	C	健 全 度 / 100 点		53	点		
【5】取り組み状況や今後の方針							
維持管理の中で定期点検を行い、各関係者と修繕を見据えた協議を始める。							

施設カルテ

1.町民文化系施設－1.集会施設							
【1】施設名称							
中喜来地区農事集会所							
【2】所在地							
〒771 - 0212 松茂町中喜来字南張19-1							
【3】建物情報							
構 造	W	造	階 数	1 階 建	延べ床面積	188.63	m ²
建 築 年	1990年3月		平成2年3月		築 年 数	築 33	年
【4】評価							
耐 震 安 全 性 評 価							
基 準	新		診 断	－		補 強	－
劣 化 状 況 評 価							
屋根・屋上	B	外 壁	B	内部仕上げ	B	電 気 設 備	B
機 械 設 備	B	健 全 度 / 100 点		75	点		
【5】取り組み状況や今後の方針							
部分的に劣化が見受けられる。維持管理の中で定期点検を行う。							

施設カルテ

1.町民文化系施設－1.集会施設							
【1】施設名称							
北地地区研修集会センター (笹木野北地多目的研修集会施設)							
【2】所在地							
〒771 - 0219							
松茂町笹木野北上135-1							
【3】建物情報							
構 造	W	造	階 数	1	階 建	延べ床面積	118.38 m ²
建 築 年	1981年4月		昭和56年4月		築 年 数	築 41	年
【4】評価							
耐 震 安 全 性 評 価							
基 準	旧		診 断	－		補 強	－
劣 化 状 況 評 価							
屋 根 ・ 屋 上	C	外 壁	C	内 部 仕 上 げ	D	電 気 設 備	C
機 械 設 備	C	健 全 度 / 100 点		0	点		
【5】取り組み状況や今後の方針							
旧耐震基準で耐震補強されていないため早急な対応が必要となる。							
運用方針について各関係者と協議を始める。							

施設カルテ

1.町民文化系施設－1.集会施設							
【1】施設名称							
北地地区研修集会センター (出荷場)							
【2】所在地							
〒771 - 0219 松茂町笹木野北上135-1							
							
【3】建物情報							
構 造	S	造 階	数	1	階 建	延べ床面積	105.52 m ²
建 築 年	1982年4月		昭和57年4月		築 年 数	築 41	年
【4】評価							
耐震安全性評価							
基 準	旧		診 断	－		補 強	－
劣化状況評価							
屋根・屋上	B	外 壁	C	内部仕上げ	C	電気設備	C
機 械 設 備	C	健 全 度 / 100 点		0	点		
【5】取り組み状況や今後の方針							
旧耐震基準で耐震補強されていないため早急な対応が必要となる。							
運用方針について各関係者と協議を始める。							

A photograph of a small, single-story building with a gabled roof and a covered entrance. The building has light-colored vertical siding and a dark wooden door. A small porch with a wooden pillar is visible. The building is surrounded by trees and a paved area.

- 33 -

施設カルテ

2.社会教育系施設－1.図書館								
【1】施設名称								
松茂町立図書館								
【2】所在地								
〒771 - 0220								
松茂町広島字四番越6-1								
【3】建物情報								
構 造	RC	造 階	数	1	階 建	延 べ 床 面 積	1548.11	m ²
建 築 年	2007年3月		令和4年3月		築 年 数	築	16	年
【4】評価								
耐 震 安 全 性 評 価								
基 準	新		診 断	－		補 強	－	
劣 化 状 況 評 価								
屋 根 ・ 屋 上	B	外 壁	B	内 部 仕 上 げ	B	電 気 設 備	B	
機 械 設 備	B	健 全 度 / 100 点		75	点			
【5】取り組み状況や今後の方針								
部分的に劣化が見受けられる。維持管理の中で定期点検を行う。								

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

【1】施設名称

【2】所在地

松茂町中喜来字群恵225-3

構 造	RC	造 階 数	2	階 建	延 べ 床 面 積	122.17	m ²
建 築 年	1992年2月		平成4年2月		築 年 数	築 31	年

耐震安全性評価

基 準	新	診 断	—	補 強	—
-----	---	-----	---	-----	---

屋根・屋上	B	外 壁	A	内部仕上げ	A	電 気 設 備	C
機 械 設 備	C	健 全 度 / 100 点		83	点		

[illegible]

施設カルテ

3.スポーツ・レクリエーション系施設

設－１.スポーツ施設

【１】施設名称

松茂町第2体育館

【２】所在地

〒771 - 0212
松茂町中喜来字群恵312-5ほか

【３】建物情報

構　造	W	造階数	1	階建延べ床面積	1690.87	m ²
建築年	2005年3月		平成17年3月		築年数	築　18　年

【４】評価

耐震安全性評価

基準	新	診断	—	補強	—
----	---	----	---	----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	B	外壁	B	内部仕上げ	B	電気設備	B
機械設備	B	健全度 / 100点		75	点		

【５】取り組み状況や今後の方針

A photograph showing the exterior of the Matsushige Town Sports Center. The building is a modern, multi-story structure with a light-colored facade and large windows. It has a flat roof with some mechanical equipment visible. In front of the building is a paved area, possibly a parking lot or plaza, and there are some green plants and trees around it. A signpost is visible near the entrance.

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

4.学校教育系施設-1.学校

【1】施設名称

松茂小学校（校舎2-2）

【2】所在地

771-0218

松茂町住吉字住吉開拓187

【3】建物情報

構 造	RC	造 階 数	1	階 建	延 べ 床 面 積	32.00	m ²
建 築 年	1978年3月		昭和53年3月		築 年 数	築 44	年

【4】評価

耐震安全性評価

基 準	旧	診 断	濟	補 強	一
-----	---	-----	---	-----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	B	外 壁	B	内部仕上げ	C	電 気 設 備	C
機 械 設 備	D	健 全 度 / 100 点		49	点		

【5】取り組み状況や今後の方針

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

4.学校教育系施設－1.学校

【1】施設名称

松茂小学校（校舍5）

【2】所在地

771-0218

松茂町住吉字住吉開拓187

【3】建物情報

構 造	S	造 階 数	2	階 建	延 べ 床 面 積	256.00	m ²
建 築 年	2011年8月		平成23年8月		築 年 数	築 10	年

【4】評価

耐震安全性評価

基 準	新	診 断	—	補 強	—
-----	---	-----	---	-----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	B	外 壁	B	内部仕上げ	B	電 気 設 備	B
機 械 設 備	B	健 全 度 / 100 点		75	点		

【5】取り組み状況や今後の方針

The photograph shows the exterior of the National Diet Library building. The main structure is built with red brick and features a series of five tall, narrow windows with white frames. Above each window is a small, dark, rectangular decorative element. To the right of the brick section is a large, white, cylindrical structure that appears to be a modern architectural feature. The building is set against a clear blue sky. In the foreground, there are several wide, concrete steps leading up to the entrance. The overall style is a blend of traditional and modern architecture.

4.学校教育系施設－1.学校
【1】施設名称
松茂小学校（体育館）
【2】所在地
〒771-0218 松茂町住吉字住吉開拓187

施設カルテ

[illegible]

A photograph of a modern, white, rectangular building with a blue door and large windows. The building has a minimalist design with flat surfaces and sharp lines. A small, dark, rectangular structure is attached to the roof above the door. The building is set against a clear blue sky. In the background, there are some trees and a fence. The foreground shows a paved area and some steps leading to the door.

4.学校教育系施設－1.学校
【1】施設名称
喜来小学校（校舎2）
【2】所在地
〒771-0212 松茂町中喜来字前原西一番越14

A photograph of a three-story concrete building with multiple windows, identified as the building for the 2nd year of the Faculty of Education. The building has a plain, light-colored facade and several rectangular windows with white frames. Some windows are partially covered by dark, possibly closed shutters or blinds. In the foreground, there are several young, bare trees with thin trunks and small, dark, rounded tops. A black metal fence is visible on the right side of the image. The sky is overcast and grey.

4.学校教育系施設－1.学校
【1】施設名称
喜来小学校（校舎3）
【2】所在地
〒771-0212 松茂町中喜来字前原西一番越14

A photograph of a modern, two-story white building with a flat roof and large windows, identified as the 'New Building' in the caption. The building has a minimalist design with vertical lines and a small overhang on the ground floor. It is situated in an open area with other buildings and trees in the background.

4.学校教育系施設－1.学校

【1】施設名称

喜来小学校（校舍4）

【2】所在地

771-0212

松茂町中喜来字前原西一番越14

【3】建物情報

構 造	RC	造 階	数	2	階 建	延 べ 床 面 積	123.00	m ²
建 築 年	2002年3月			平成14年3月		築 年 数	築 20	年

【4】評価

耐震安全性評価

基 準	新	診 断	—	補 強	—
-----	---	-----	---	-----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	B	外 壁	B	内部仕上げ	B	電 気 設 備	B
機 械 設 備	B	健 全 度 / 100 点		75	点		

【5】取り組み状況や今後の方針

施設カルテ

[illegible]

A photograph of the National Diet Building in Japan. The building features a modern architectural style with a white facade and large, rectangular concrete pillars supporting the upper floors. The entrance is visible, with a set of stairs leading up to a glass door. The building is surrounded by a paved area and some greenery.

4.学校教育系施設-1.学校

【1】施設名称

喜来小学校（体育館）

【2】所在地

771-0212

松茂町中喜来字前原西一番越14

【3】建物情報

構 造	RC	造	階 数	1	階 建	延べ床面積	444.64	m ²
建 築 年	1975年3月			昭和50年3月		築 年 数	築 47	年

【4】評価

耐震安全性評価

基 準	旧	診 断	濟	補 強	濟
-----	---	-----	---	-----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	B	外壁	B	内部仕上げ	B	電気設備	C
機械設備	D	健全度 / 100 点		62	点		

【5】取り組み状況や今後の方針

4.学校教育系施設－1.学校
【1】施設名称
長原小学校（校舎1）
【2】所在地
〒771-0216 松茂町長原530

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

4.学校教育系施設－1.学校

【1】施設名称

長原小学校（校舎3）

【2】所在地

〒771-0216
松茂町長原530

【3】建物情報

構 造	RC	造 階 数	1 階 建	延 べ 床 面 積	13.00	m ²
建 築 年	1972年1月		昭和47年1月	築 年 数	築 50	年

【4】評価

耐 震 安 全 性 評 価

基 準	旧	診 断	－	補 強	－
-----	---	-----	---	-----	---

劣 化 状 況 評 価

屋 根 ・ 屋 上	B	外 壁	B	内 部 仕 上 げ	C	電 気 設 備	C
機 械 設 備	D	健 全 度 / 100 点		49	点		

【5】取り組み状況や今後の方針



施設カルテ

[illegible]

A photograph of a modern, two-story building with a flat roof and large windows. The building is light-colored and features a series of vertical concrete pillars supporting the upper floor. The entrance area is visible on the right side, with a glass door and a small clock mounted on the wall. The building is surrounded by a low brick wall and some landscaping.

4.学校教育系施設－1.学校
【1】施設名称
長原小学校（体育館）
【2】所在地
〒771-0216 松茂町長原530

施設カルテ

4.学校教育系施設-1.学校

【1】施設名称

松茂中学校（校舎1）

【2】所在地

771-0219

松茂町笹木野字八山開拓186



【3】建物情報

構 造	RC	造 階 数	3	階 建	延べ床面積	3368.00	m ²
建 築 年	1974年2月		昭和49年2月		築 年 数	築 48	年

【4】評価

耐震安全性評価

基 準	旧	診 断	濟	補 強	濟
-----	---	-----	---	-----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	B	外 壁	B	内部仕上げ	C	電 気 設 備	C
機 械 設 備	D	健 全 度 / 100 点		49	点		

【5】取り組み状況や今後の方針

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

4.学校教育系施設－1.学校
【1】施設名称
松茂中学校（部室）
【2】所在地
〒771-0219 松茂町笹木野字八山開拓186

施設カルテ

4.学校教育系施設－1.学校								
【1】施設名称								
松茂中学校第2グラウンド（部室・倉庫）								
【2】所在地								
〒771-0219								
松茂町笹木野字八山開拓96								
【3】建物情報								
構 造	RC	造 階	数	2	階 建	延 べ 床 面 積	60.04	m ²
建 築 年	1982年3月		昭和57年3月		築 年 数	築	40	年
【4】評価								
耐 震 安 全 性 評 価								
基 準	旧		診 断	－		補 強	－	
劣 化 状 況 評 価								
屋 根 ・ 屋 上	－	外 壁	－	内 部 仕 上 げ	－	電 気 設 備	－	
機 械 設 備	－	健 全 度 / 100 点		－	点			
【5】取り組み状況や今後の方針								
町民グラウンドに転用予定であるため令和5年度までに改修工事を行う。そのため劣化状況調査は未実施。								

施設カルテ

4.学校教育系施設－1.学校								
【1】施設名称								
松茂中学校第2グラウンド（外周フェンス）								
【2】所在地								
〒771-0219								
松茂町笹木野字八山開拓96								
【3】建物情報								
構 造	S	造 階	数	1	階 建	延 べ 床 面 積	17.52	m ²
建 築 年	1982年3月		昭和57年3月		築 年 数	築	40	年
【4】評価								
耐 震 安 全 性 評 価								
基 準	旧		診 断	－		補 強	－	
劣 化 状 況 評 価								
屋 根 ・ 屋 上	－	外 壁	－	内 部 仕 上 げ	－	電 気 設 備	－	
機 械 設 備	－	健 全 度 / 100 点		－	点			
【5】取り組み状況や今後の方針								
町民グラウンドに転用予定であるため令和5年度までに改修工事を行う。そのため劣化状況調査は未実施。								

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

5.子育て支援施設－1.幼稚園

【1】施設名称

松茂幼稚園（園舎）

【2】所在地

〒771-0218

松茂町住吉字住吉開拓187



【3】建物情報

構 造	RC 造	階 数	1 階 建	延べ床面積	1378.00	m ²
建 築 年	2006年3月		平成18年3月	築 年 数	築 16	年

【4】評価

耐震安全性評価

基 準	新	診 断	－	補 強	－
-----	---	-----	---	-----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	B	外 壁	B	内部仕上げ	B	電気設備	B
機 械 設 備	B	健全度 / 100 点	75	点			

【5】取り組み状況や今後の方針

施設カルテ

5.子育て支援施設－1.幼稚園

【1】施設名称

喜来幼稚園（園舎1）

【2】所在地

〒771-0212
松茂町中喜来字前原西一番越14

【3】建物情報

構　造	RC	造	階　数	1	階　建	延べ床面積	332.00	m ²
建　築　年	1975年3月			昭和50年3月		築　年　数	築　47	年

【4】評価

耐震安全性評価

基　準	旧	診　断	済	補　強	—
-----	---	-----	---	-----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	B	外　　　壁	B	内部仕上げ	B	電気設備	C
機　械　設　備	D	健全度 / 100点		62	点		

【5】取り組み状況や今後の方針



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

5.子育て支援施設－2.幼児・児童・学
習施設

【1】施設名称

松茂児童館

【2】所在地

〒771-0219
松茂町笹木野字山上77-1

【3】建物情報

構	造	W	造	階	数	1	階	建	延べ床面積	294.90	m ²			
建	築	年	2005年3月			平成17年3月			築	年	数	築	17	年

【4】評価

耐震安全性評価

基	準	新			診	断	－			補	強	－	
---	---	---	--	--	---	---	---	--	--	---	---	---	--

劣化状況評価

屋根・屋上	A	外	壁	A	内部仕上げ	B	電気設備	A
機	械	設	備	A	健全度 / 100 点	91	点	

【5】取り組み状況や今後の方針



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

5.子育て支援施設－2.幼児・児童・学習施設

【1】施設名称

地域子育て支援センター（物置）

【2】所在地

〒771-0220
松茂町広島字三番越2-4

【3】建物情報

構 造	RC	造 階 数	2	階 建	延 べ 床 面 積	14.79	m ²
建 築 年	1988年3月		昭和63年3月		築 年 数	築 34	年

【4】評価

耐 震 安 全 性 評 価

基 準	旧	診 断	－	補 強	－
-----	---	-----	---	-----	---

劣 化 状 況 評 価

屋 根 ・ 屋 上	－	外 壁	－	内 部 仕 上 げ	－	電 気 設 備	－
機 械 設 備	－	健 全 度 / 100 点		－	点		

【5】取り組み状況や今後の方針



A photograph showing the front entrance of a single-story building with a light-colored facade and a dark roof. The entrance features a set of double glass doors with white frames, sheltered by a small dark awning. To the left of the doors are two small rectangular signs or notices. To the right is a window with horizontal blinds. The building is set on a paved area, and a utility pole is visible in the background.

[illegible]

施設カルテ

5.子育て支援施設－2.幼児・児童・学習施設

【1】施設名称

中部学習センター

【2】所在地

〒771-0219
松茂町笹木野字山下112

【3】建物情報

構 造	RC	造 階 数	1 階 建	延 べ 床 面 積	144.00	m ²
建 築 年	1974年3月		昭和49年3月	築 年 数	築 48	年

【4】評価

耐 震 安 全 性 評 価

基 準	旧	診 断	－	補 強	－
-----	---	-----	---	-----	---

劣 化 状 況 評 価

屋 根 ・ 屋 上	B	外 壁	C	内 部 仕 上 げ	C	電 気 設 備	C
機 械 設 備	C	健 全 度 / 100 点		0	点		

【5】取り組み状況や今後の方針



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

7.行政系施設－1.庁舎等

【1】施設名称

庁舎

【2】所在地

〒771-0295
松茂町広島字東裏30

【3】建物情報

構 造	RC	造 階 数	4 階 建	延 べ 床 面 積	2752.02	m ²
建 築 年	2016年12月		平成28年12月	築 年 数	築 5	年

【4】評価

耐 震 安 全 性 評 価

基 準	新	診 断	－	補 強	－
-----	---	-----	---	-----	---

劣 化 状 況 評 価

屋 根 ・ 屋 上	B	外 壁	A	内 部 仕 上 げ	A	電 気 設 備	A
機 械 設 備	A	健 全 度 / 100 点		98	点		

【5】取り組み状況や今後の方針



7.行政系施設－ 1.庁舎等
【1】施設名称
議会棟
【2】所在地
〒771-0295 松茂町広島字東裏30

施設カルテ

[illegible]

A photograph of a two-story building with a corrugated metal exterior and horizontal blue and white stripes. The building has a large roll-up door on the ground floor and a window with a metal grate. Several motorcycles are parked in front of the building.

- 88 -

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

7.行政系施設ー 2.消防施設

【1】施設名称

松茂町南部コミュニティ消防センター

【2】所在地

〒771-0216
松茂町長原43-11

【3】建物情報

構 造	S	造 階 数	2	階 建	延 べ 床 面 積	100.70	m ²
建 築 年	1998年3月		平成10年3月		築 年 数	築 24	年

【4】評価

耐 震 安 全 性 評 価

基 準	新	診 断	—	補 強	—
-----	---	-----	---	-----	---

劣 化 状 況 評 価

屋根・屋上	B	外 壁	B	内 部 仕 上 げ	C	電 気 設 備	B
機 械 設 備	B	健 全 度 / 100 点		62	点		

【5】取り組み状況や今後の方針



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

7.行政系施設－2.消防施設

【1】施設名称

元第1分団詰所

【2】所在地

〒771-0212
松茂町中喜来字中組2 - 3、2 - 1
3

【3】建物情報

構　造	S	造階数	2	階建	延べ床面積	74.97	m ²
建築年	1988年3月		昭和63年3月		築年数	築	34年

【4】評価

耐震安全性評価

基準	新	診断	—	補強	—
----	---	----	---	----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	D	外壁	D	内部仕上げ	D	電気設備	D
機械設備	D	健全度 / 100点	10	点			

【5】取り組み状況や今後の方針

A photograph of a two-story yellow building with vertical siding. It has a large white roll-up garage door on the ground floor and a single window with light-colored curtains above it. The building is situated next to a concrete wall and other structures.

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

8.公営住宅－2.公営住宅

【1】施設名称

笹木野団地1号棟

【2】所在地

〒771-0219
松茂町笹木野字八山開拓143、147-2

【3】建物情報

構　造	RC	造階数	4	階建	延べ床面積	1239.84	m ²
建築年	1972年4月		昭和47年4月		築年数	築49	年

【4】評価

耐震安全性評価

基準	旧	診断	済	補強	—
----	---	----	---	----	---

劣化状況評価　松茂町公営住宅等長寿命化計画より

不同沈下	○	柱や壁の大きなひび割れ	×	鉄筋の錆によるコンクリートの膨張亀裂	×	火災や化学薬品等によるコンクリートの劣化	○
仕上材の剥落、老朽化	×	外壁の落下、笠木の浮き	○	判定	×		

【5】取り組み状況や今後の方針

適切な維持補修をしながら将来計画の検討を始めなければいけない。



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

8.公営住宅－2.公営住宅

【1】施設名称

笹木野団地5号棟

【2】所在地

〒771-0219
松茂町笹木野字八山開拓143、147-2

【3】建物情報

構造	RC	造	階数	4	階建	延べ床面積	1401.12	m ²
建築年	1974年4月			昭和49年4月		築年数	築47	年

【4】評価

耐震安全性評価

基準	旧	診断	済	補強	－
----	---	----	---	----	---

劣化状況評価

松茂町公営住宅等長寿命化計画より

不同沈下	○	柱や壁の大きなひび割れ	×	鉄筋の錆によるコンクリートの膨張亀裂	×	火災や化学薬品等によるコンクリートの劣化	○
仕上材の剥落、老朽化	×	外壁の落下、笠木の浮き	○	判定	×		

【5】取り組み状況や今後の方針



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

8.公営住宅－2.公営住宅
【1】施設名称
笹木野団地集会所
【2】所在地
〒771-0219 松茂町笹木野字八山開拓143、1 47-2

施設カルテ

8.公営住宅－2.公営住宅

【1】施設名称

福有団地1号棟

【2】所在地

〒771-0219
松茂町笹木野字八北開拓1-159

【3】建物情報

構　造	RC	造階数	4	階建	延べ床面積	995.04	m ²
建築年	1977年1月		昭和52年1月		築年数	築45	年

【4】評価

耐震安全性評価

基準	旧	診断	済	補強	—
----	---	----	---	----	---

劣化状況評価　松茂町公営住宅等長寿命化計画より

不同沈下	○	柱や壁の大きなひび割れ	×	鉄筋の錆によるコンクリートの膨張亀裂	○	火災や化学薬品等によるコンクリートの劣化	○
仕上材の剥落、老朽化	×	外壁の落下、笠木の浮き	○	判定	×		

【5】取り組み状況や今後の方針



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

8.公営住宅－2.公営住宅
【1】施設名称
中喜来団地排水処理施設
【2】所在地
〒771-0212 松茂町中喜来字前原西五番越1

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

8.公営住宅－2.公営住宅

【1】施設名称

中喜来団地5号棟

【2】所在地

〒771-0212
松茂町中喜来字前原西五番越1

【3】建物情報

構　造	RC	造階数	4	階建	延べ床面積	1262.66	m ²
建築年	1996年2月		平成8年2月		築年数	築	26年

【4】評価

耐震安全性評価

基準	新	診断	—	補強	—
----	---	----	---	----	---

劣化状況評価　松茂町公営住宅等長寿命化計画より

不同沈下	○	柱や壁の大きなひび割れ		鉄筋の錆によるコンクリートの膨張亀裂	○	火災や化学薬品等によるコンクリートの劣化	○
仕上材の剥落、老朽化	○	外壁の落下、笠木の浮き	○	判定			

【5】取り組み状況や今後の方針



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

- 120 -

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

9.公園－ 1.公園

【1】施設名称

松茂町交流拠点施設Matsushigate(屋外便所・倉庫棟)

【2】所在地

〒771-0220

松茂町広島字三番越10

【3】建物情報

構造	S	造	階数	1	階	建	延べ床面積	71.29	m ²
建築年	2021年3月			令和3年3月		築年数	築	1	年

【4】評価

耐震安全性評価

基準	新	診断	－	補強	－
----	---	----	---	----	---

劣化状況評価

屋根・屋上	-	外壁	-	内部仕上げ	-	電気設備	-
機械設備	-	健全度 / 100点	-		点		

【5】取り組み状況や今後の方針

維持管理の中で定期点検を行う。



施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

9.公園－ 1.公園																						
【1】施設名称																						
松茂町交流拠点施設Matsushigate(木工作業所)																						
【2】所在地																						
〒771-0220																						
松茂町広島字三番越10																						
【3】建物情報																						
構 造	S	造	階 数	1	階 建	延 べ 床 面 積	35.07	m ²														
建 築 年	2021年3月			令和3年3月		築 年 数	築 1	年														
【4】評価																						
耐震安全性評価																						
基 準	新		診 断	－			補 強	－														
劣化状況評価																						
屋根・屋上	-	外 壁	-	内部仕上げ	-	電 気 設 備	-															
機 械 設 備	-	健 全 度 / 100 点	-	点																		
【5】取り組み状況や今後の方針																						
維持管理の中で定期点検を行う。																						

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

施設カルテ

[illegible]

第 6 章

インフラの管理に関する基本的な方針

最後に、インフラの管理に関する基本的な方針を掲示します。これは、将来インフラの管理に関わる計画を策定・推進するための基礎となる方針です。第 4 章で述べた方針に加え、本章に記載の情報を共有し、今後の把握・分析に利用していきます。

①道路

整備状況

大分類	中分類	実延長	総面積
道路（町道）	1 級町道	7,638m	684,633 m ²
	2 級町道	14,550m	
	その他	108,381m	

基本的な方針

視点	取組み状況や今後の方針
数量	○ 本町内での新たなインフラ整備や商業施設、住宅地の造営に応じ、これまで町道の整備を行ってきた。現在の整備状況をもって、住民ニーズに相応であると考えている。今後も必要に応じ、整備にあたることとする。
品質	○ 定期的に道路パトロールを行い、劣化状況や危険度を把握し、修繕・大規模改修を計画的に行う。 ○ 改良率は良好であるが、幅員が狭い等歩行者にとっても危険な箇所があり、歩道整備が不十分なところは、歩行者の安全性を考慮した改良を実施する。 ○ 地震・津波・水害といった自然災害時の住民の避難、誘導、物資搬入等に活用することも念頭に維持管理に努める。
コスト	○ 道路パトロールにより把握した劣化状況や危険度を基に優先順位を付け、修繕・更新をすることにより、コストの縮減を図る。修繕や大規模改修を行うことにより、施設の延命化を図るとともに、管理コストの削減に努める。

②橋りょう

整備状況

分類	実延長	総面積
橋りょう	1,568m	9,201 m ²

基本的な方針

視点	取組み状況や今後の方針
数量	○ 橋梁長寿命化計画に基づき、整備を進める。
品質	○ 健全度の把握については、徳島県作成の「橋梁点検マニュアル」に基づき実施し、橋りょうの劣化状況を早期に把握することで、予防的で計画的な対応を行う。 ○ 平成26年7月から近接目視による5年に1度の点検が義務付けられた。協議連絡機関である徳島県道路メンテナンス会議等により情報収集に努める。 ○ 橋りょうを良好な状態に保つため、日常的な維持管理として道路パトロールを実施する。
コスト	○ メンテナンス点検結果による健全性の区分は、「Ⅰ健全」「Ⅱ予防保全段階」「Ⅲ早期措置段階」「Ⅳ緊急措置段階」とする。 ○ 健全性区分Ⅳはもとより区分Ⅲにおいても、損傷度と重要性により優先順位をつけ、計画的に修繕を実施する。

③水道事業

建物整備状況

施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度
水道事業				
松茂町浄水場	沈殿池 No1 下部建物 (電気室)	広島字南ノ川 30	38.44	1966
	沈殿池 No2 下部建物 (旧滅菌室)		37.20	1968
	管理棟		272.13	1982
	沈殿池 No3 下部建物 (旧ポンプ室)		188.55	
	倉庫		139.00	1983
	沈殿池 No4 下部建物 (次亜塩素)		57.76	1992
	配水ポンプ室	414.08	2009	
	取水棟	広島字北ノ川 57-25	31.46	1981
	電気室		60.00	
コミュニティプラント				
長原真空ステーション	長原真空ステーション	豊岡字芦田鶴 105-14	53.25	2008
松茂ニュータウン 污水处理場	松茂ニュータウン 污水处理場	中喜来字中瀬堤外 3-10	445.30	1985
農業集落排水事業				
長岸地区污水处理場	長岸地区污水处理場	長岸字友打 85-2、86-2	158.55	1994
中喜来地区污水处理場	中喜来地区污水处理場	中喜来字南洲 16-17、17-3、 18-3	374.09	1997
北川向地区污水处理場	北川何地区污水处理場	広島字北川向二ノ越 135-2	263.59	2000
排水機場				
豊久排水機場	豊久排水場	豊久字豊久開拓 1-148 及び 139-18 の一部	378.72	1974
			300.76	1983
中喜来排水機場	中喜来排水機場	中喜来字中瀬堤外 6-7	140.00	1981
伊沢裏排水機場	伊沢裏排水機場	中喜来字福有開拓 1-103	175.31	1981
豊岡排水機場	豊岡排水機場	豊岡字小金洲 2-1	102.00	1984
長原都市下水場	長原都市下水場	長原 128-1 外 9 筆	559.27	1984
広島ポンプ場	広島ポンプ場	広島字東裏 1-34 地先	486.07	1990
笹木野都市下水場	笹木野都市下水場	笹木野字山上 11-1	771.38	1988

管延長

大分類	中分類	管延長	延長
水道事業	上水道事業	導水管	950m
		送水管	185m
		配水管	105,954m
	公共下水道事業	総延長	38,432m
	農業集落排水事業	総延長	17,356m

基本的な方針

視点	取組み状況や今後の方針
数量	○ 施設数については適正で現状維持とする。しかし今後、人口減少や災害に対応した施設の維持管理や修繕・耐震化を計画的に更新して長寿命化を図る。 ○ 集中豪雨などの浸水被害を考慮した規模調整に取り組む。 ○ 当面の間、農業集落排水施設は近隣施設との統合の予定はしておらず、現状での処理を行う。
品質	○ 公共下水道事業に合わせた水道管の耐震化を進める。 ○ 老朽管の布設替え工事を計画的に実施し、耐震化に取り組む。 ○ 水道施設耐震化計画を策定し、その実施にあたっては補助金等の財源確保に配慮し、実情に沿った適正な計画により早期の完了をめざす。またこの計画に基づき、順次施設や機器の更新を行う。 ○ オーバーホールや消耗品の交換等については定期的に行い、適正な維持管理に努める。
コスト	○ 上水道は、水の供給という、住民に必要不可欠な公共サービスであることから、将来にわたる適正な使用料運営を行っていくために、必要な施設の更新計画や料金設定を十分に検討し、健全な経営に努める。 ○ 下水道については、不明水の混入を出来るだけ防ぐ対策を講じつつ、機器に無駄な負荷をかけないようにする。また、管更正時には、コストパフォーマンス的に最良なものを選択する。 ○ 各施設とも、適正な時期の維持修繕に努め、不要な光熱水道費の削減に努める。

写真（上水道・下水道）



松茂町浄水場



笹木野都市下水場



長原都市下水場



長原真空ステーション



中喜来地区污水处理場



北川向地区污水处理場



伊沢裏排水機場



豊岡排水機場

松茂町公共施設等総合管理計画（改定版）

初 版：平成29年3月発行

改定版：令和 4年3月発行

発画・編行：徳島県板野郡松茂町総務課

〒771-0295

徳島県板野郡松茂町広島字東裏30番地

TEL 088-699-2111

URL <https://www.town.matsushige.tokushima.jp/>